

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	第4水辺公園秋川ふれあいランド
	所在地	あきる野市小川1343番地101
	所管課	商工観光部観光まちづくり推進課観光まちづくり推進係
指定管理者	名 称	一般社団法人あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市館谷台16番地
	業務内容	1 施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 2 環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料の徴収業務 3 施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 4 施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページURL		https://www.akirunokanko.com/
指 定 期 間		令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

2 施設の利用状況等について

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
開館等日数（日）	248	298	299	298	301
利用者（来客者）数（人）	1,043	2,170	1,925	1,764	1,358
前年度比（人）	△1,897	1,127	△245	△161	△406
前年度比（%）	35.5	208.1	88.7	91.6	77.0
利用料金（売上）合計（千円）	5,100	3,722	4,049	3,879	2,960
前年度比（千円）	380	△1,378	327	△170	△919
前年度比（%）	108.1	73.0	108.8	95.8	76.3

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3 施設の収支状況について

（単位：千円）

項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0
	使用料収入（売上）	1,239	2,908	3,293	2,960
	自主事業収入	0	0	0	0
	その他の収入	3,862	813	756	550
	計	5,100	3,722	4,049	3,510
支 出	人件費	2,378	3,169	3,335	3,181
	維持管理経費	416	388	543	623
	自主事業	0	0	0	0

	関係経費					
	その他の支出	156	166	198	151	148
	計	2,950	3,723	4,076	4,361	3,952
収支（収入－支出）		2,150	△1	△27	△482	△442

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
・利用者に対し、口頭にて利用状況等を確認している。 ・電話等による予約の際には、新規利用者であるかリピーターであるかを確認するとともに、施設利用に当たっての要望などを確認している。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
・食材等を調達する際に、近くにスーパーやコンビニがなく不便との意見がある。 ・トイレへの落書き等の苦情が寄せられ、その都度清掃などを行い対応している。 ・施設の老朽化により各所に不具合が生じ、苦情が寄せられているため、その都度対応している。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
・小・中学校等の課外授業や地域事業に対して施設を貸し出すなど、地域貢献に努めている。 ・施設近くに食材等の調達店舗がないため、電話対応時に地域のスーパーや商店といった食材等の配達サービス店舗を紹介するなど、利用者のサービス向上に努めている。 ・近隣に買い物ができるお店がないため、園内に自動販売機の設置を市と協議し、検討していく。 ・農地止水用の堰があり水難事故が起こりやすいため、救助資機材を常備し、安全対策を講じている。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
・業務に支障のない範囲で節電、節水に努めている。 ・受付時間終了までに利用者がいない場合は早めに終了するなど、人件費削減に努めている。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
学生や会社などの団体のリピーターが多い傾向にあるが、年々利用者が減少している状況である。利用者の大半が車で来園されることを踏まえ、バーベキュー道具の持込みを可能とすることを検討していく必要がある。持込みを可能とすることで、道具の清掃等の後片づけ作業が削減でき、最小限の従業員で運営ができる。今後は利用者増加に向けて、利用者のニーズに合った公園機能や利用形態などの見直し、サービスの改善、PR方法などを検討し、他施設との差別化を模索していく必要がある。 繁忙期には前年度と同様に事故防止に努め、遊泳の注意喚起の看板や救助用浮き輪・ライフジャケットの配備、監視員の配置を行うなどして安全対策を行った。今後も事故防止と園内整備を徹底し、利用者一人ひとりを大切に運営していく。 物価・エネルギー価格等の高騰に対応すべく、経営改善に向けた取組を行っていく。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
小・中学校等の課外授業や地域事業に対して施設を貸し出すなど、地域貢献に取り組んでいる。また、施設近くに食材等の調達店舗がないため、電話対応時に地域のスーパーや商店といった食材等の配達サービス店舗を紹介するなど、利用者のサービス向上に努めている。
経費削減の取組
利用者に配慮し影響のない範囲で、人件費や施設整備費用など経費削減に取り組んでいる。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
年々利用者数及び収入が減少傾向にあることから、SNS等を活用した広報活動や利用形態の見直しなどを行い、利用者の増加と収入の確保につなげられることを期待する。

総合評価

A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。